

令和5年7月

中学生の保護者の皆様へ

愛知県教育委員会

自殺予防啓発リーフレット（保護者用）「大人みんなが子どもの命のサポーター」の配付について

盛夏の候、保護者の皆様には、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から、本県の学校保健及び学校安全行政に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

さて、日本では、令和4年における小中高校生の自殺者数が過去最多の514人となり、若年層の自殺予防は喫緊の課題となっています。こうした中、文部科学省から平成26年7月に「子供に伝えたい自殺予防－学校における自殺予防教育導入の手引－」が各学校に配付されました。ここでは、子どもは自殺の危険が高まったときに、同世代の友人にその気持ちを打ち明けることがよくあることから、子どもを直接対象とした自殺予防教育が重要であると述べられております。

そこで、本県では学校で自殺予防教育を行うための教材として、中学生を対象としたリーフレットを作成し、その趣旨をお伝えするために、別添のとおり保護者用リーフレットを配付させていただきます。

中学生用リーフレットでは、「心が苦しいときには、周囲の人に話すこと（支援を得ること）で、苦しい気持ちはきっと軽くなること」に加え、苦しい気持ちを抱えた友人を支えるためには、「温かく声をかけ、信頼できる大人につなげることが重要」というメッセージを伝えています。

また、この保護者用リーフレットでは、保護者の皆様が、周囲の信頼できる大人のひとりとして、子どもたちを支えるためにできることについてお伝えしています。

自殺予防の取組を充実したものとするためには、学校と保護者、地域の関係機関等との連携が重要です。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

担当 保健体育課振興・保健グループ
電話 052-954-6793



悩んでいるあなたへ

今あなたの心の状態は？

私たちの心は常に揺れています。



私たちの心は、前向きでいられないときがあります。

そんなときは・・・



こんなことをしているうちに、
乗り越えていけることがあります

それでも、悲しいこと、つらいことがたくさん重なると・・・



どうしていいか
わからなくなってしまふことも
あるよね



話して
みようかな。



心が苦しくてたまらない・・・

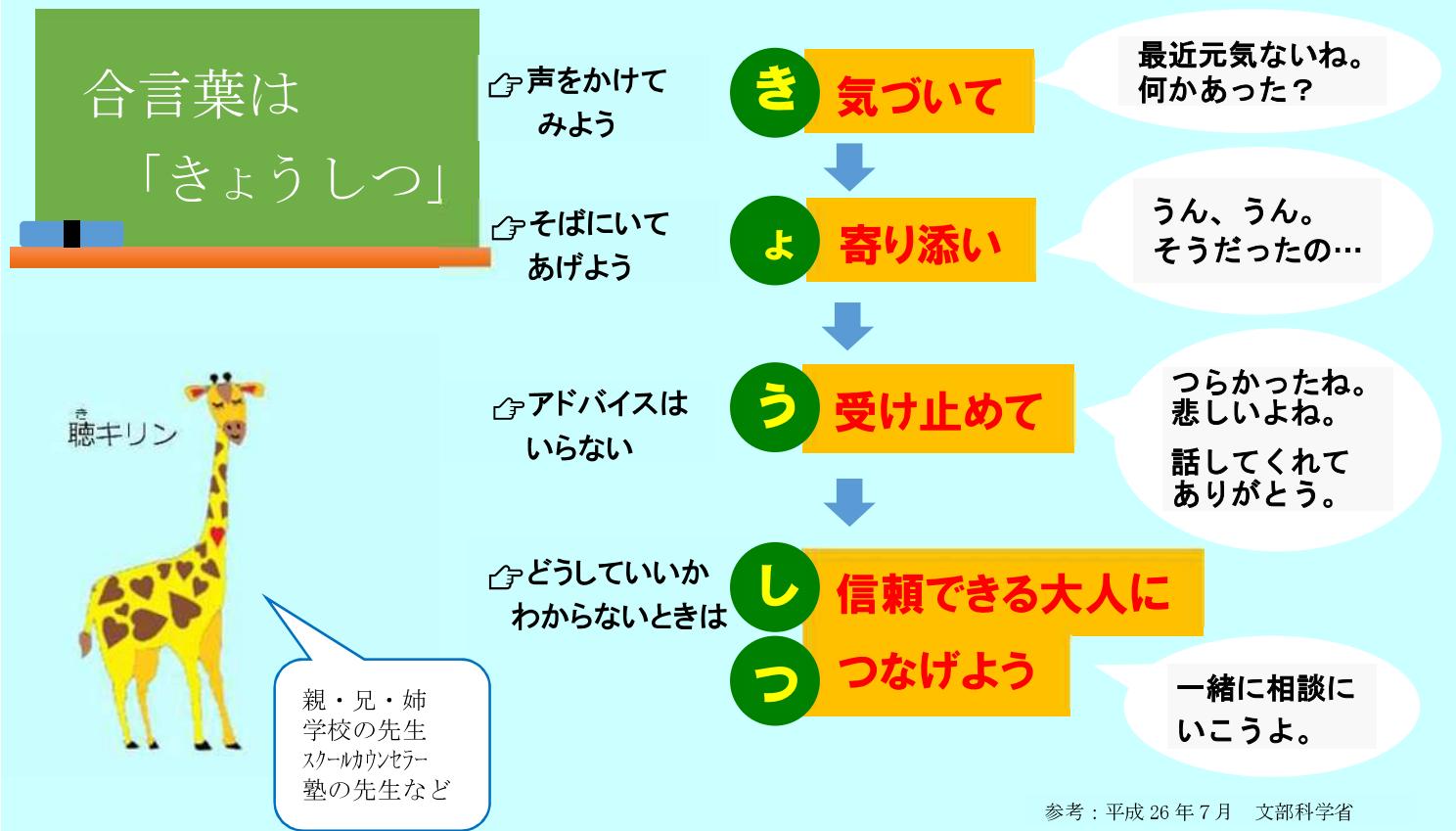
人生のピンチは誰にでも起こります。

心が弱いわけでも怠けているわけでもありません。

ひとりで悩まず誰かに相談してみませんか？

支えたいあなたへ

苦しんでいる友人のためにあなたにできることは・・・



参考：平成 26 年 7 月 文部科学省

チャット・電話・メールで相談できるところがあります。

生きづらびっと 月・水・金 11:00~22:30 受付 22:00まで
火・木・日 17:00~22:30 受付 22:00まで
土 11:00~16:30 受付 16:00まで

SNS 相談 [生きづらびっと](#)

チャイルドライン [チャイルドライン](#)
チャット相談（毎週 水・木・金・土曜日 16:00~21:00）
電話相談（16:00~21:00） 通話料無料 ☎ 0120-99-7777

子ども SOS ほっとライン 24
電話相談（24 時間） 通話料無料 ☎ 0120-0-78310



大人みんなが子どもの命のサポーター

お子さんと「命」について話してみませんか？

誰にでも心が苦しい時がある

日本では自殺で命をなくす小中高校生が増加しており 500 人前後となっています*。子どもは心の苦しみを同世代の友人に打ち明けることがあります。

思春期は心の病気に要注意

思春期は、うつ病、統合失調症など心の病気になることもあります。

心の病気は自殺の原因となることもあるので、医療機関につなげましょう。

子どもの命の危機を乗り越えるために、大人にできることがある

子どものサインに気づき、命の危機を防ぎましょう。

友人に相談されたとき、周囲の大人につなげることを、子どもに伝えましょう。

*「地域における自殺の基礎資料」厚生労働省

子どものサインに気づきましょう

行動のサイン

朝起きられない
ふらっと家を出る

投げやりになる
急な欠席

過食や拒食
飲酒

自傷行為
喫煙 など



こころのサイン

イライラしている
死にたいと言う

好きなことに興味がなくなる
消えちゃいたいと言う

妙に明るい
笑わない など

身体のサイン

疲れやすい

食欲がない

眠れない

不調が続く など

すぐにできことがあります

「普段の会話」をたくさんする

『いつもと違う』と感じるために、『いつもどおり』を知ってください。

変化を感じたら「今日はどうしたの?」「いつでも聴くよ」という姿勢をみせましょう。

子どもが抱える「つらさ」に寄り添う

子どもが打ち明けられたら、「つらかったね」「話してくれてありがとう」と受け止めましょう。
否定や軽視をしないことが大切です。

いろいろな人に相談する

まずは自分の心を落ち着けて、学校や相談窓口に相談をし、解決に向けた方法を一緒に考えましょう。



生徒用リーフレットでは、次のようなことを伝えています

思春期の子どもは、心の危機に陥ったときに、同世代の友人に気持ちを打ち明けることがよくあります。しかし、死にたい気持ちを打ち明けられた子どもも、どのように対応したらよいかわからないことが多いのです。そこで、命の危機とその対応についての知識を伝えています。



心が苦しくてたまらない・・・
人生のピンチは誰にでも起こります。
心が弱いわけでも怠けているわけでもありません。
ひとりで悩まず誰かに相談してみませんか？

話ネコ

合言葉は
「きょうしつ」

声をかけて
みよう

そばにいて
あげよう

アドバイスは
いらない

どうしていいか
わからないときは

親・兄・姉
学校の先生
スクールカウンセラー
塾の先生など

き 気づいて
よ 寄り添い
う 受け止めて
し 信頼できる大人に
つ つなげよう

最近元気ないね。
何かあった？

うん、うん。
そうだったの…

つらかったね。
悲しいよね。
話してくれて
ありがとう。

一緒に相談に
いこうよ。

参考：平成 26 年 7 月 文部科学省

保護者のみなさん自身の心のケアも大切です

子どものサインに気づいたときは、より良い解決のために学校もしくは専門機関または医療機関に相談しましょう。

また、子どもの様子を心配するあまり不安になり過ぎたり、家庭や職場で心配事があると一人で対処することが難しく、ストレスとなりがちです。

様々な心の悩みに関する相談は、愛知県精神保健福祉センターまで。

あいち相談窓口ナビ

愛知県精神保健福祉センター ☎052-962-5377

(受付時間 平日 9:00~12:00、13:00~16:30)

子ども SOS ほっとライン 24 ☎0120-0-78310

交友関係でのトラブル、いじめ相談など



大人みんなで協力し、子どもたちを支えましょう